

今さらだけど

裁判員 って何!?

スタートから **8年**が経過した裁判員制度について知ってみよう。

もしもボクが 裁判員になったら

「裁判員すごろく」で、見て行こう!!

スタートふりだし

(前年の11月ごろ)
裁判員候補者の名簿に載る

市区町村の選挙人名簿から無作為抽出された名簿をもとに、「裁判員候補者名簿」が作られます。選ばれた候補者のところには、「名簿記載通知(名簿に載りましたというお知らせ)」が届きます。
※約400人に1人くらいの割合です。



第1歩

(今年の2月から約1年間)
裁判員候補者に選ばれる

裁判員が参加する事件の日程が決まるごとに、その都度、名簿の中からさらにくじで裁判員候補者が選ばれます。
※ひとつの事件ごとに80から100人程度が選ばれます。



第2歩

(裁判の大体6週間前)
選定手続期日の通知
(裁判所に来てもらう日時のお知らせ)
と質問票が届く

辞退理由に該当する場合は質問票を返送し、辞退が認められる場合があります。



第3歩

(選定手続期日)裁判所に行って、
裁判長から質問を受ける

裁判長が候補者に、不公平な裁判をするおそれがないか、辞退希望があるかなどを質問し、実際に裁判員となる人をくじで6人選びます(さらに補充裁判員も2人選びます)。



(裁判が開かれる当日)
裁判員6人の中の1人に選ばれた
あなたは、審理に参加します

法廷で検察官・被告人・弁護人の主張や証人尋問などを聞くなどした後、評議室で裁判員と裁判官だけで有罪か無罪か、有罪だとすれば刑はどのくらいかを話し合います。⇒判決宣告にも立ち会います

ゴール あがり!

裁判員って何する人?

刑事裁判に参加し、有罪かどうか、どんな刑にするべきかを裁判官と一緒に決めます。

裁判員制度って何?

司法の専門家だけでなく、国民の人たちにも刑事裁判に参加してもらう制度です。裁判に参加してもらう人のことを、「裁判員」と呼びます。

そもそも...

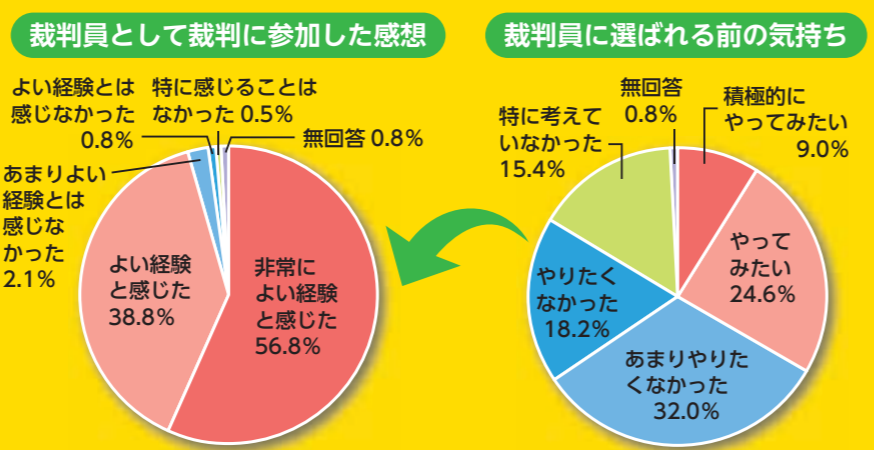


裁判所へ行ってみよう!

熊本地方裁判所では、裁判の傍聴もできますよ。手続きも不要で、自由に入退室ができます(傍聴希望の多い事件はこの限りではありません)。
皆さんが思っている以上に、裁判を身近に感じることができます。学生向けの見学会もあります。一度立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

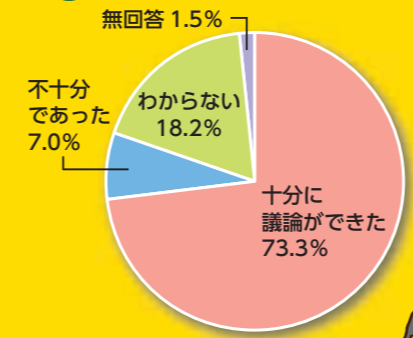


裁判員に選ばれる前と後での気持ちの変化は?



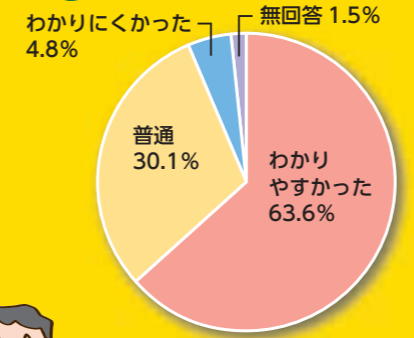
「(あまり)やりたくない」から、「(非常に)よい経験と感じた」へと変化しており、充実感をもって裁判員としての職務に従事していただけたことがうかがえます。

評議における議論の充実度



議論すべき点が明確であったため、自分の意見を充分に述べる事が出来ました。私も含め全ての方の意見を尊重していただいた印象があります。
(30代・男性・お勤め)

審理内容のわかりやすさ



配られたメモなどどれも分かりやすく、聞きとりやすく話していただいたので落ち着いて話しを聞くことができました。
(40代・女性・専業主婦)

裁判員裁判の実施状況

～経験者の声もお知らせします～

裁判所に行く日数の平均は5.6日

